

やまぎん

アジアニュース

平成 31 年 2 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194

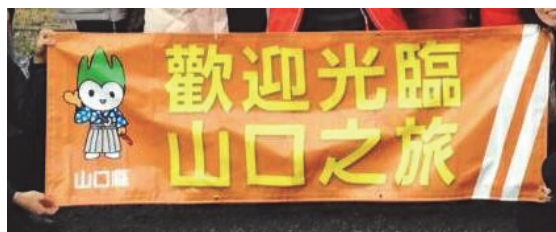


【香港駐在員事務所】

香港からの富裕層ツアーで思うこと

1. はじめに

2月2日～8日の6泊7日で、北九州市と山口県西部を巡る香港からの富裕層ツアーのお手伝いをする機会がありました。1月の下旬に福岡県香港事務所よりお声がけをいただき、バタバタとした準備・打ち合わせとなりましたが、旅行期間中は天気にも恵まれたほか、下関市（長府庭園～カ

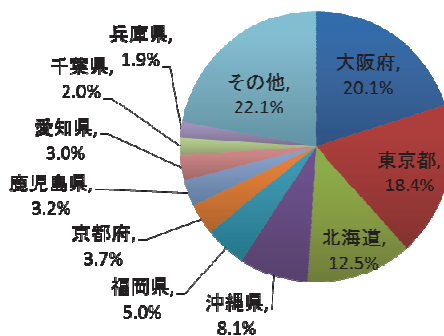


(写真 1)

モンワーフ～角島大橋)と長門市(元乃隅神社～湯本温泉) (写真 1) の行程では山口県と下関市より多大なお力添えを頂戴し、ツアー参加の皆さんは大変満足されて旅行を終えられました。旅行中に SNS 等による情報発信も大いにしていただけましたようです。今年の香港のお正月(春節)は、2月5日～7日でしたので、年末年始の旅行先に我々の地元が選ばれたということになります。一方で、日本国内では観光業のオフシーズンに当たることから、今後に繋がる大変有意義なものであったと思います。

2. 訪日旅行先の変化

かつて外国人の訪日旅行と言えば、東京～大阪間のゴールデンルートや、北海道や沖縄県に集中するという時代がありました。それが旅行者の中にリピーターが増えるに連れ、その周辺や更に地方にも足が運ばれるようになりました。右のグラフ(図 1)は、2017年の宿泊都道府県別シェア(出典:日本政府観光局(JNTO)「香港の基礎データ」(2018年5月))です。



(図 1)

山口県の近隣で言えば、福岡県と鹿児島県が上位に入っています。見方によればここ数年は、福岡～鹿児島間(九州一円)が地方版のゴールデンルートといった感もありました。福岡空港から入ると博多で買い物して観光のた

め南に向かい、逆に鹿児島空港から入ると観光しながら北上し博多で買い物してツアー終了といった感じでしょうか。

但し、年々訪日外国人が増え 2018 年には過去最多 3,119 万人に至るに当たり、外国人旅行者は国内の更に地方、まだあまりメジャーにはなっていない場所に目を向け始めています。特に香港と台湾、韓国は、リピート率が高い上、団体旅行ではなく個人旅行の割合が高く、その傾向が強いと感じます。今回の香港からの富裕層ツアーは、まさにその流れを汲むものであると言えます。(因みに、2018 年の訪日香港人は 220 万人に上りました)

3. メディアによる取り上げ

実は最近香港では、山口県のメディアへの露出が増えています。直近の 2018 年には 3 回ほど、有力ローカル誌に取り上げてもらえました。

- ・「HongKong Walker」2017 年 6 月号 (写真 2)

周防大島 24 ページ

(なぎさ水族館、Jams Garden、ALOHA ORANGE、KASAHARA HONEY、周防大島文珠堂、周防大島 Otera Cafe、日本ハワイ移民資料館、屋代ダム公園、道の駅周防大島サザンセットとうわ、やねよりの箸屋、サルワーレ、4 奇岩、ホテル&リゾート サンシャイン サザンセット、石鍋亭、漁家民宿かささ)

- ・「U Magazine」(※) 2018 年 5 月 11 日号

山口県と福岡県で「フグ」をテーマとした特集 21 ページ
(唐戸市場、下関ふくの日祭り、酒井商店、センザキッチン、ふくの里、道の駅北浦街道ほうほく)

- ・「Clink Magazine」2018 年 10 月号 (写真 3) (現在は雑誌名が「Asobi」に変更)

山口県 8 ページ

(角島大橋、角島灯台公園、錦帯橋、瑠璃光寺、湯田温泉)

- ・「U Magazine」2018 年 12 月 28 日号 (写真 4)

山口県 9 ページ

(元乃隅神社 (旧称は元乃隅稻荷神社)、角島大橋、海響館、湯本温泉、山村別館、平家茶屋)

※U Magazine : 週刊誌、毎週 10 万部発行、購読層は 20~30 代 女性中心



(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)

4. 香港からの富裕層ツアーで思うこと

今回、香港からの富裕層ツアーには香港人だけでなく、欧米人も含まれていました。参加者側の取りまとめ役の方と打ち合わせをする中で、「今回は色々な人が参加されるので、宗教関係のスポットは各人の信仰もあるので避けています」と言われ、下関市内の訪問予定先について提案を変更する場面がありました。

また、こんなこともありました。こちらから日本庭園を観ながら抹茶と和菓子を楽しんでもらおうと提案したところ、最初はすごく喜ばれました。先方からも、お茶の作法がわかる資料があれば事前にくださいと要請があり、すぐに手配しました。しかし最終的には、「お茶は、残念ですが諦めます。もう少し時間に余裕がある時にしましょう。やはり、1人ずつ傍について作法について指導しながらでない、相手の方に失礼に当たりますし、日本の素晴らしい文化を大切にしたいので」と取りやめになりました。その代わりに、「ひな飾りさげもん展」(*1)を案内できました>(*1.さげもんとは、福岡県柳川市に伝わる風習で吊るし飾りのこと)

また、今回のツアーには山口県内の酒蔵見学も含まれておりましたが、ツアー参加者の約半数はお酒が飲めないということでした。その為、宿泊先では周防大島のみかんジュースを手配してもらいました。

香港からの富裕層ツアーをお手伝いするに当たり、私自身が外国人の富裕層に対して漠然とした先入観を持ちながら話を進めていたのだなと思いました。今回は、相手側と時間がない中でも良い打ち合わせができたので、ツアー参加者側と下関・長門側の双方が満足いくツアーになりました。先入観によるサービスの提供は、どうしても均一的になりがちと思われれます。今回は逆にサービスを減らす結果となりましたが、先入観から一歩踏み込んで個々の事情や考えに寄り添うことができたので、満足度は高めることができましたと思います。

5. 終わりに

1月19日から1ヶ月間、香港のダイヤモンドヒル(地名)にあるショッピングモール「Plaza Hollywood」で、『柳井金魚春日祭 (YANAI Golden Lantern CNY Festival)』というイベントが開催されました。(写真5) 香港のお正月(春節)に相応しい幸運の象徴として「やない金魚ちょうちん」(*2)が飾られ、新年を華やかに祝いました。オープニングイベントには香港の芸能人も駆け付け、たくさんの観客で大いに賑わいました。香港には金魚街という金魚専門店(写真6)が立ち並ぶ通りがあるほど愛好家も多く、赤を主体とした色合いも中華圏の人々には喜ばれることから、やない金魚ちょうちんはとても馴染まれやすいと感じられ、嬉しくなりました>(*2.やない金魚ちょうちんとは柳井市で伝統として受け継がれる金魚の形をしたちょうちん)

香港の中では、「山口県」や「関門」の認知度はまだまだ高くはありませんが、観光は勿論のこと、様々な分野の関係者の方々の努力により、着実に積み上がってきていると思います。

日本では今年、ラグビーのワールドカップ、来年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。山口銀行香港駐在員事務所としましても、これを機に香港からより多くの人に日本へ、更に地元地域へ行ってもらえるよう、積極的に活動してまいります。

(山口銀行香港駐在員事務所 松本 好弘)



(写真 5)



(写真 6)

【参考文献】

- ・日本政府観光局 (JNTO)
「香港の基礎データ」(2018年5月)
「訪日外客数(2018年12月および年間推計値)」(2019年1月16日)